



# アメリカ医療のトリセツ

取扱説明書



渡米してすぐの方も、長年こちらに住んでいる方も、米国医療に関することになる、「よくわからない」「もっと知りたい」と感じている方も多いのではないのでしょうか。そこで、ミシガン大学の家庭医学科の先生方に医療に関する様々なトピックについてまとめていただき、連載でご紹介します。

Vol. 11

## 薬局の使い方 2 - Tier system, prior authorization, Good Rx, scheduled drugについて

アメリカの医療を複雑にしていることの一つに処方薬が保険でカバーされるか、カバーされるときに自己負担のCo-payはどれくらいになるのか、また処方薬によっては厳しい管理をされていて一度にたくさん処方してもらうことができない、といったことがあります。特に個人の持っている健康保険の会社や種類によってカバーされる薬の種類が違ったり、自己負担が異なったり、というのは日本の医療システムと違うためにわかりにくいところです。今回は健康保険が処方薬をどの様に分類して患者さんの自己負担を分類しているか、使いたい処方薬が保険でカバーされないときにどうするか、そして処方薬の中でも厳しい管理をされていて処方制限されている薬について解説します。

### 健康保険による薬の分類 - Tier System

健康保険は処方薬をいくつかのカテゴリー（大抵4つ、Tier 1からTier 4）に分けて分類をしています。

#### Tier 1 処方薬

効果と安全性が確立されており、かつジェネリック薬品が既にあるような、長年使われている薬です。糖尿病の治療に使うメトホルミンや高血圧の薬のアムロジピンなどが含まれます。薬剤の値段も低く抑えられているため、自己負担も最も低いカテゴリーです。

#### Tier 2 処方薬

ジェネリック薬がまだ販売されていない新しい薬でブランド薬しかない場合、もしくはジェネリック薬でもより安価で同等の効果のある薬が別にある場合にはTier 2に分類されます。Tier 2では、殆どの場合、ブランド薬でも比較的値段が抑えられているものが多く、健康保険がカバーしてくれます。薬自体の値段がTier 1より高くなるため自己負担もTier 1より上がります。

#### Tier 3 処方薬

ジェネリック薬もあるブランド薬などが分類されています。より安価な薬があるにもかかわらず、ブランド薬を使うことになるため自己負担も高くなります。

#### Tier 4 処方薬

重傷者を治療するとき処方される、特殊かつ高価な処方薬のカテゴリーです。肺癌治療薬のオプシーボのような薬が含まれます。

それぞれのTierの自己負担額や、どの薬がどのTierに含まれるかは健康保険のプランによって異なります。このシステムのため、日本から処方されている薬をそのままアメリカで続行しようとする、高額になってしまふことがよくあります。特にブランド薬を使っている場合には健康保険のプランを選ぶときに自分が普段から使っている薬がカバーされるのか、確認をしてから選ぶことが理想的です。

### Prior Authorization:

使いたい薬が健康保険のカバーする薬とは違う場合、または健康保険が勧める薬のリストの中で優先順位が低い（Tierの数字が高い）場合に健康保険に処方薬をカバーしてくれるように、事前に許可を申請することが必要になる場合があります。これをPrior Authorizationと言います。特別な事情があって、特定の薬の処方が必要な場合や特殊な検査をする必要がある場合に行われる手続きです。医学的に特定の薬を使う必要がある場合には許可が降りることがありますが、あまり確率は高くないのが現実です。大抵の場合、まず健康保険がカバーする薬を使い、何らかの理由でその薬を使うことができない場合（副作用がある、効果がないなど）に、希望する薬を使う許可があります。日本にいるときに使っていたから、という理由は医学的な理由ではないためPrior Authorizationの対象にはなりません。

### 使いたい薬が保険でカバーされないとき、または処方薬をカバーする健康保険を持っていない場合 - Good Rx

日本で長年使っていた、またはアメリカで新しく使い始める薬でも、自分の入っている健康保険がその薬をカバーしないことがあります。前述のPrior Authorizationをしても、保険会社がカバーすることを拒否することも多く、その場合には保険会社がカバーする薬に変更するか、全額自己負担で薬を購入することになります。その決断をするときには、全額を自己負担とする場合には薬代がいくらになるのか、ということを知りたいところです。その際に役に立つのがGood Rxというサイト (goodrx.com) です。Good Rxのサイトで自分の希望する処方薬を検索すると取り扱っている薬局のリストと共にそれぞれの薬局での薬の販売価格が表示されます。同じ薬でも薬局によって値段が異なり、また薬によって安く販売している薬局が違います。また、30日分よりも90日分をまとめて購入すると割引率が高くなる可能性があります。全額自己負担で薬を購入する場合、このGood Rxのサイトで薬を検索し、割引用のクーポンを印刷して薬局に持っていきと割引も受けることができます。Good Rxのアプリをスマホにダウンロードすれば、クーポンの画面を見せるだけで、割引を受けることができます。

### 厳しい管理をされている処方薬

#### Scheduled Medicationsについて:

精神疾患を治療する薬（向精神薬、抗不安薬、睡眠薬）、麻薬系鎮痛薬、一部の抗てんかん薬などは薬の乱用につながる可能性が高いため処方厳格に管理されています。このタイプの薬を処方するためには、医師は医師免許の他に州から発行される管理された薬剤処方用の許可証と国の機関である麻薬取締局( DEA) から発行される許可証を持っている必要があり、いつ、誰に、何を、どれだけ処方したか、厳格に監視されています。一度に処方することができる日数も多くの場合30日分までとなっており、おかわりをするためのリフィルもつけることができないことがほとんどです。

日本でよく処方される睡眠薬のマイスリー（ゾルピデム）、抗不安薬のソラナックス（アルプラゾラム）などのベンゾジアゼピン系の薬、麻薬の一種であるコデインの入った咳止めなども対象になります。特に抗不安薬、または睡眠薬として日本でよく使われるベンゾジアゼピン系の薬は麻薬系鎮痛薬以上に依存性が非常に高く、副作用も多いためにアメリカでは可能な限り処方避けるようになってきました。また、このベンゾジアゼピン系の薬はもともとアメリカでは日本ほど処方されていないため、種類も限られています。例えば、日本で頻繁に使われているデパス（エチゾラム）はアメリカにはありませんので、別の薬に切り替える必要があります。

このように管理をされている処方薬を使う場合は必ず3ヶ月に1度は外来受診をすること、処方薬の使い方に関する誓約書への署名、薬剤の尿検査を受けることなどが求められることがあります。

今回は、処方薬にかかわるルールと用語についてご説明しました。それぞれの保険会社やプランが、どのようなルールを使っているかは、多種多様なので、直接保険会社に患者さんが連絡して問い合わせない限り、薬局が保険会社に薬のカバーを請求して初めて、どの程度カバーされるかわかることが多いです。薬局に薬を取りに行くと、法外な額を請求された場合は、とりあえず受け取らずに帰り、医療機関に連絡して相談することをお勧めします。薬を受け取ってしまうと、後から返還や変更をすることは不可能であるためです。



医師 清田礼乃 (きよたあやの) | ミシガン大学医学部 家庭医学科助教授

千葉県出身。聖マリアンナ医科大学卒業。University of Pittsburgh Medical Center Shadyside 家庭医学研修、Detroit Medical Center / Wayne State University ホスピス・緩和医学フェローシップ、University of Hawaii 老年医学フェローシップ、およびUniversity of Hawaii医学教育フェローシップ修了。2016年よりミシガン大学医学部家庭医学科に所属しLivonia Health Center, Chelsea Retirement Community, 及びミシガン大学病院にて家庭医学、老年医学、緩和医療の診療をしています。